

令和7年度 公共政策学部 学校推薦型選抜 小論文

○出題意図

【一】

問一では、AIは間違いを起こしうるということを理解したうえで、筆者が「アイデア倒れ」ではないかと考える理由として、問題文から、(A) 人間がセーフティ・ボタンを押すことに伴う問題がある点と (B) 人間の判断を求めればAIのメリットが消えてしまう点を読み取り、それを自身の言葉で十分に説明できているか、文章読解力と表現力を問うている。

問二では、筆者の見解を踏まえて自身の考えを展開できているか、また、その考えは発想、論理、表現の点で適当に論述できているか、論理的思考力と表現力を問うている。

【二】

本問では『厚生労働白書』に掲載されたデータから「子どもを産み育てやすい環境づくり」にどのような課題があり、どのような対応策が求められているのかを考察する力を問うている。

人口減少と少子化は今後の日本社会のあり方を大きく左右する課題である。1990年代から少子化対策は実施されてきたが、改善の見込みはない。その一つ原因として、女性に育児負担が偏っていることがあげられる。図からそのことが読み取れるかがポイントとなる。また、人口減少と少子化は様々な媒体でも取り上げられるため、具体的な対応策をあげることが可能なはずである。本学部のアドミッションポリシーをふまえて、受験生には日ごろから日本社会で発生している社会問題やその対応策に目を向けられているのかが問われている。

【三】

問一は、本文で言及される「すべり坂」の意味について、受験生が問題文を的確に理解した上で、論理的に述べられているか、基礎的な読解力、論述力を問うものである。

問二は、日本において「安楽死」を認めることについてどのように考えるか、受験生が問題文を的確に理解した上で、論理的に自らの意見を展開させることができるかどうかを問うている。